



はじめに

本格的な人口減少・高齢社会の到来、アジアを中心とする社会経済の急速なグローバル化の進展など、近年、地域を取り巻く社会環境は著しく変化してまいりました。

愛知県におきましても、約21万人の外国人が暮らし、地域の経済活動を支える大きな力となっている中、今後も、在住外国人の定住化が進み、外国人労働者の更なる受入れ拡大が予想されます。そのため、国籍や民族などのちがいににかかわらずすべての県民の皆様が安心して暮らせることはもとより、その能力を十分発揮して活躍することができ、更にその多様な価値観を地域の活力として生かすことができる、多文化共生の県づくりが求められています。

こうした中、新たな行政課題に的確に対応していくため、これからの愛知の地域づくりの羅針盤として策定した「新しい政策の指針」では、「多文化共生成熟社会づくり」を戦略的・重点的な政策の一つとして位置づけました。その具体化に向けて、有識者による「愛知県多文化共生社会づくり推進会議」を開催し、施策の方向性や具体策について検討を行い、2007(平成19)年3月、提言をいただきました。

このたび、推進会議の提言を踏まえ、「多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくり」を基本目標とした「あいち多文化共生推進プラン」を策定いたしました。

今後は、このプランの着実な推進を図り、愛知県で暮らす日本人と外国人が多様な価値観を認め合いながら、ともに学び、ともに働き、ともに安心して暮らせる多文化共生の愛知づくりに向けて、県民やNGO・NPO、企業、関係機関などの皆様との連携を深めてまいりたいと考えています。

どうか、皆様方には、本プランの趣旨をご理解いただき、一層のご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、本プランの策定にあたりご協力をいただきました関係各位をはじめ、県民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに対し、深く感謝いたします。

2008年3月

愛知県知事

神田 恵秋

目 次

第1章 プランの策定方針	1
1 プラン策定の趣旨	1
(1) 外国人県民の増加と定住化の進展	1
(2) プラン策定の経緯	1
2 プランの位置づけ	2
3 プランの策定方法	2
4 計画期間	2
5 プラン策定の背景	3
(1) 愛知県の人口見通し	3
(2) 愛知県の外国人登録者の状況	4
(3) 愛知県のこれまでの取組	10
(4) 国の取組の現状	15
第2章 多文化共生推進に関する基本的な考え方	19
1 多文化共生推進の必要性	19
2 多文化共生推進の意義	20
3 プランがめざす愛知の多文化共生社会(プランの目標)	21
第3章 推進施策の展開	25
1 行動目標 多文化共生の意識づくり	26
施策の基本方向 地域社会に対する意識啓発の推進	26
施策の基本方向 人権意識の高揚	30
2 行動目標 誰もが参加できる地域づくり	32
施策の基本方向 地域社会への参加促進	32
3 行動目標 外国人県民も暮らしやすい地域づくり	37
施策の基本方向 コミュニケーション支援の充実	37
施策の基本方向 生活支援の充実	43
4 行動スケジュール	68
第4章 プランの推進に向けて	71
1 多文化共生推進主体の役割の明確化	71
2 多文化共生推進主体の連携・協働の強化	74
3 プランの進行管理と適切な見直し	74

参考資料

1 「愛知県の国際化に関する県民意識調査」の概要	79
2 多文化共生社会づくり推進共同宣言	97
3 在留資格一覧	98
4 愛知県多文化共生推進プラン(仮称)検討会議	100
5 愛知県国際化推進連絡会議	102
6 作成経過	106

- ・ 「愛知県国際化推進プラン」では、愛知県在住の外国人に対して「外国籍県民」という呼称を用いてきました。しかし現在では、日本国籍を取得する人や、国際結婚などによって生まれた子どもなど外国人の親の文化を背景にもつ人も増えています。このような外国にルーツをもつ人は、外国籍の人と同様の課題を抱えている場合があります。そこで、本プランではこれらの人々も視野に入れ、「外国人県民」という呼称を用いることにします。
- ・ 年の表示は西暦を基本とし、初出時に和暦を併記しました。